

べいあっぷ環境リポート

台場エコレンジャー 活動報告すごろくだよ!!

台場児童館では、環境課、NPO海辺づくり研究会と一緒に、台場ならではの海辺の環境を活かして小学校2、3年生の児童を中心に、1年間をとおして「エコレンジャーグループ」の活動を行ってきました。

子どもたちが普段の「遊びの場」の中で、台場の海や干潟の生き物などに興味や関心を持ち、さまざまな自然にも触れ合いながら、楽しい、面白い、不思議だと感じたことがそのまま経験、知識となる環境教育ならぬ環境遊びができたと思っています。そんな活動の様子を、ほんの一部ではありますがご紹介します。

皆さんも、身近な自然環境をみまわしてください。きっと、すてきな発見がありますよ!

スタート!

5月9日

“干潟”や“アマモ”などの勉強をしたよ。“アマモ”は海をきれいにし、干潟の生き物のすみかにもなる海藻、まさに海のやりかご。さあ、エコレンジャー大活躍の始まりだ!



2月26日

みんなで干潟の模型を作って干潟の役割を考えました。

1月31日

お台場の海鳥を双眼鏡で観察

11月30日

「みなと森と水会議」でエコレンジャーの活動発表。子どもたちもVTTRで出演しました。みんなの元気なコメント大好評!

2つ戻る

5月19日

千葉県富津海岸へ“アマモ”のたやの採集と干潟の生き物観察に行きました。「アマフラシ」を持ってみたよ。ぶにやぶにゆして気持ちよかった!

海に入って“アマモ”のたやとり。「ムチみたいな25cmぐらいもあるアマモを発見!!」

3つ進む

“アマモ”のたやは葛西臨海水族園に預かってもらいました

1回休み

6月30日

台場のアサリ調査。「潮干狩りに来た人にインタビューしたんだ。“マテ貝”を何匹もつかまえている名人がいたよ!

11月17日

バスハイクであきる野の森へ。間伐材を使ったコースター作りや洞穴探検、とんがりすべる急坂の滑り台。いつもとは違う山の自然に大・感・激!



9月9日

みなと区民の森がある、あきる野市の子どもたちとの交流事業で、一緒に葛西臨海水族園へ。育つてもらっていた“アマモ”の種を選別しました。「種と一緒に“ワカサギ”“ヨコエビ”なんかもいっしょにおもしろかった!



刈寄「みなと区民の森」と横沢入みんなの里山



広報みなと等でお知らせのあった、みなと区民の森は、平成19年4月から多摩地区あきる野市戸倉字刈寄谷の森林、約20ヘクタール(約6万600坪)を区が借り受け、区民と事業者が一体となって整備保全し、温暖化防止に役立てるために始まった事業です。

秋川渓谷近くのみなと区民の森には、3月末にはトイレや作業小屋も完成予定です。すでに横沢入や刈寄で、子どもたちによる巣箱づくりや間伐体験等環境学習も始まっており、都会の子どもたちも森林に生息するさまざまな生物にふれあえる里山もできました。オオタカも生息している多摩の森の一角にできた区民の森は、多くの区民ボランティアや、NPOあきる野さとやま自然塾による間伐や林道整備等の協力で、緑豊かな自然に出会えるみなと区民の森に変貌(ぼう)しつつあります。



☆みなと区民の森へのアクセス(電車の場合)
新宿駅からJR中央線→立川駅でJR青梅・五日市線に乗り換え、拝島駅経由で「武蔵五日市駅」下車。京王バスで「西小中野」下車徒歩約30分

☆横沢入へのアクセス(電車の場合)
JR中央線立川駅でJR青梅・五日市線に乗り換え、拝島駅経由「武蔵増戸駅」下車徒歩約20分

☆車であきる野市へのアクセス
中央自動車道八王子ICから約20分。
圏央道日の出ICからあきる野市へ

☆あきる野市には、新鮮安価な野菜や花卉特産品が買える「ファーマーズセンター」、無料の足湯や宿泊施設もある温泉施設「瀬音の湯」、横沢入には名刹「大願寺」があります。

森の再生で海もよみがえる

人間が植林した森は人間が手をかけないと荒廃しさまざまな災害の原因に。だから間伐が必要です。

平成17年11月、港区の子どもたちが横沢入へ、18年9月にはあきる野市の子どもたちがお台場の干潟を訪れるなど、環境学習をとおしての交流も始まっています。区民ボランティアやNPOの手で横沢入では稲作を、刈寄区民の森では椎茸づくりを実験的に始めており、炭焼き窯も計画されています。山間部と都心の港区が連携して森を整備し、温暖化防止に寄与する取り組みは、間伐された材木から小物や家具作りで地場産業の活性化にもつながるなど、港区の温暖化防止関連事業も充実しつつあります。ちなみに、恒例となった夏の打ち水大作戦用の桶なども間伐材で作られています。

連載コラム

自転車は軽車両です。歩道では歩行者目線で

良識ある知人のAさん、愛犬を連れ散歩の時は歩道を飛ばす違反自転車に腹が立つ、逆に、自分が急ぎで自転車を使う時はのんびり歩く歩行者が邪魔に思えると言います。それって、車に乗ると人格が変わる人と同じ類のチョットした上から目線でしょう。車を運転する人は、車道を走る自転車に気を遣うと言います。車は凶器で事故を起こせば犯罪だと認識しているからですが、自転車も使いようで凶器になります。警視庁が「自転車に乗ったらあなたもドライバー」とうたってから15年以上ですが、自転車による人身事故は6倍近くに増え続けています。以前、どこだったかヨーロッパの都市で、歩行者と同じ目線になるように段差をつけた専用道路が放映されて、さすがと思ったものです。

季節は巡りもうすぐ桜咲く季節、あちこちで歩道の桜も花開く、見上げれば誰もが優しい顔になれる春、歩行者と自転車が敵対しない安全で弱者に優しい歩道が待たれます。

